

さかえ奈津子は、市民のみなさまの声を大切にし、より良いまちづくりに取り組んでいます



まちづくり

- 空き家活用リフォーム助成制度を創設し空き家の有効活用を推進
- 移動支援が必要な高齢者等を支えるための新たな移動手段の実現
- 交通バリアフリーの推進
- 歩道の安全性の確保と効果的な街路樹の維持管理を目指す「街路樹維持管理計画」を策定

子育て・教育

- 全小中学校体育館へ空調整備
- 中学校給食センターの開設
- 北部地域へセオリア（学びのスペース）の設置
- 旧東谷幼稚園へ民間保育所を誘致
- 部活動の社会移行への支援
- 乳幼児子ども医療費助成事業の所得制限廃止

医療・福祉

- 妊婦健康診査費助成事業の所得制限廃止
- 带状疱疹ワクチン接種費助成
- 福祉・健康づくりのためのポイント事業実施
- 低所得者に対する新生児聴覚検査助成

環境

- 水道水のPFAS（有機フッ素化合物）の監視強化
- 熱中症対策の推進
- 動物愛護施策の推進

物価高騰対策

- おこめ券の配布
- 水道基本料金減免（6月検針分から6か月分）
- 市内中小企業へ原油等高騰対策支援
- 子育て応援手当（18才までの子ども一人当たり2万円）

目指します！

- 子育て世帯の転入・安住促進
- 地域と学校の連携で安心して子育てできるまち
- 誰もが安心して生活できる地域共生社会の実現
- 先進的な防災・減災対策で安心・安全なまちづくり
- 親なきあとを見据えた障がい者支援
- 身寄りのない高齢者の終活支援



川西市議会議員

公明党川西東支部ニュース・秋号

さかえ 奈津子

一人に寄り添い、みんなが輝く川西へ



ウクライナ支援活動



熊本地震救援募金活動



青年党員とまちピカ活動

皆さまの**声**をカタチに!! **安全・安心なまちづくり**

安心して学べる 過ごせる 居場所づくりの拡充

「学校に行けない」ことを、そのまま「学べない」ことにしていませんか。
「学校に行けているか、行っていないか」だけで判断するのではなく、それぞれの子どもに合った学び方や居場所を大切にす
る市政を進めています。

急な病気やケガ…
病院に 行ったほうがいい? 呼ぶべき? 救急車を どのように?

迷ったら…
救急安心センターひょうご
シャープ ナナ イチ イチ キュー
#7119
直通ダイヤル 078-331-7119
救急車依頼 医療機関案内
緊急時や受診の必要時に活用してください。 受付可能な医療機関の案内
2024年7月1日(午前9時)から 兵庫県全域で#7119が利用できます
救急安心センターひょうごは、公明党川西東支部が運営しています。

安心できる医療・救急体制の充実に取り組んでいます。

防犯灯の不具合
カーブミラー 傾き・破損
舗装の穴ぼこ 側溝の破損
公園や街路の不具合など

道路・みどりの 通報システムを導入
市民の皆さまが、道路や公園・街路樹などの不具合を手軽に通報できるシステムを導入しました。
スマホから簡単に通報 できます



皆さまの**声**をカタチに!! 安全・安心なまちづくり



鼓ヶ滝 鼓ヶ滝1丁目側溝清掃(年1回継続)



近隣住民の安心を守るため、大雨時の浸水防止に向けた側溝清掃を毎年定期的におこなう体制を整えました。

多田桜木 多田桜木



県道沿いの側溝で冠水防ぐ工事進め
兵庫・川西市
川西市多田桜木を通る県道沿いで現在、側溝の改修工事が順次進められています。工事を後押しした公明党の麻田寿美議員と栄奈津子市議はこのほど、現場を視察しました(写真)。

東多田 東多田1丁目



地域貢献を目的に活動している公明党青年党員によるまちピカ活動のお手伝い

丸山台 丸山台3丁目



歩道沿いに街灯設置し安全確保
兵庫・川西市
兵庫川西市丸山台3丁目の住宅街の向かい側に位置する歩道沿いに街灯が設置され、安全が確保された。市議会に街灯の新設を要請し、実現にこぎ着けた。近に住む住民は「これで安心して通れます」と語っていた。

笹部 笹部3丁目



公園周辺の環境・見通しの改善や整備を行い地域の安心・安全を向上させました。

新田 新田1丁目



集中豪雨による浸水に備え排水機能を高める雨水対策を進めました。

平野



カーブミラーを新設

一庫 一庫1丁目



雨水が流れにくい状態を整備しました。

美山台 美山台幹線道路整備



マルハチ前歩道修繕

美山台幹線道路整備

安全に暮らせるようになった地域で住民らの話を聞く麻田県議(中央右)と栄市議(右端)



公明県、市議が事業後押し

住宅集まる急傾斜地 雨水対策が大幅に前進

路上を流れる大量の水
出歩くこともままならず

兵庫・川西市
多田駅と同、平野駅を結ぶ急傾斜地の山側に位置する平野1丁目内、雨水対策が今年1月までの数年間で大幅に進み、地域住民から喜ばれている。

この場所は、急傾斜地に住宅が密集する地域で、大雨が降ると、道路の上や、家と家の間を滝のよう

に水が流れ、歩くことも危険な状況になっていた。その主な原因は雨水を流す道路の側溝が未整備だったこと。ところが道路は、私有地だったため、市費では整備できなかった。こうしたことから、道路を市側所有の地にする市側、私有地を市へ寄付し、側溝整備し危険除去

地所有者(合資)6人が市に計315・19平方メートルを寄付することを決め、2021年に登記が完了(市道管理課)。市は翌2022年「事前防災の観点から」スクを評価し対策を行っていくことに応じていた。また、栄奈津子市議も雨水対策を地域住民の一人で、土地の寄付に関わった三好恵子さんは「安心して暮らせるようになり、安全なまちづくりの表情が浮かべていた。」

事業に当たっては、公明党の麻田寿美県議(当時川西市議)が18年12月の定例市議会を皮切りに雨水・洪水対策の強化を主張。さらに、地域住民の氏田初美さんから相談を受けた20年以降も、議員協議会のほか、市議会公営企業会計決算審査特別委員会などで、想定外の雨に対応した実態把握と対策を」と訴え、市側も「事前防災の観点から」スクを評価し対策を行っていくことに応じていた。また、栄奈津子市議も雨水対策を地域住民の一人で、土地の寄付に関わった三好恵子さんは「安心して暮らせるようになり、安全なまちづくりの表情が浮かべていた。」

工事も併せて実施し、昨年10月に完了。その後、地域内にあったみすてーションの側溝も改修された。完成後は雨水が道路にたまり、流れる事態はなくなった。

公明新聞より